2025 年度認定看護管理者教育課程募集要項

1. 認定看護管理者教育課程の概要

教育理念 看護管理者には時代の変化を先取りし、看護実践現場において看護サービスの質を維持・向上させる重要な責務がある。本センターは、看護管理者の重要な責務に基づき主体的なリーダーシップを発揮し、社会に貢献できる人材を育成する。

（1）ファーストレベル ： 120 時間（日本看護協会規定 105 時間 、その他 15 時間）

【 教育目的 】

看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得する。

【 到達目標 】

① ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
② 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
③ 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

教 科 目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論 I	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム、地域共生社会	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種の理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規、倫理綱領、看護業務基準	
組織管理論 I	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	15
	看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	
人材管理 I	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理（メンタルヘルスを含む） ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	30
	看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	
	人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	
資源管理 I	経営資源と管理の基礎知識	・診療 ・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済効果	15
	看護実践における情報管理	・医療 ・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）	
質管理 I	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善 ・ 看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録	15
統合演習 I	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。	15
			合計時間 105
その他	開講式 ・ ガイダンス ・ 閉講式等		15
			総時間 120

(2) セカンドレベル ： 195 時間 （ 日本看護協会規程 180 時間 、その他 15 時間 ）

【 教育目的 】

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【 到達目標 】

① 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。

② 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

教 科 目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅱ	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移	15
	保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護スタ―ション等	
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種におけるチームケア提供の実際と課題	
組織管理論Ⅱ	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革 ・組織の意思決定	30
	看護実践の倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	
人材管理Ⅱ	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	45
	多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成	
	人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	
資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備	15
	看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用	
質管理Ⅱ	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	30
	安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策	
統合演習Ⅱ	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	45
	実習	・地域医療連携を理解するための他施設実習を行う	
			合計時間 180
その他	開講式 ・ ガイダンス ・ 閉講式等		15
			総時間 195

(3) サードレベル : 195 時間　（ 日本看護協会規程 180 時間 、その他 15 時間 ）

【 教育目的 】

① 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【 到達目標 】

① 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる
② 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
③ 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

教 科 目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅲ	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 ・WHO、国連 SDGs等	30
	看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護制度に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響	
	ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） ・NGO、NPO へのヘルスケアサービス ・地域連携、在宅におけるヘルスケアサービス ・看護事業の開発と起業 ・ヘルスケアサービスのシステム構築 ・テクノロジーの活用	
組織管理論Ⅲ	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間ネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	30
	組織における倫理	・組織における倫理的問題 ・倫理的問題に対する組織的対応	
人材管理Ⅲ	社会システムと労務管理	・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応	15
	看護管理者の育成	・看護管理者の能力開発、活用	
資源管理Ⅲ	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステ―ション等の経営の特徴と課題 ・戦略策定	30
	財務管理	・財務会計 ・管理会計 ・資金管理	
	組織的情報管理	・関係法規の遵守 ・地域における情報共有・活用	
質管理Ⅲ	経営と質管理	・ガバナンスとアカンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用 ・第三者評価	30
	組織の安全管理	・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策 ・危機管理	
統合演習Ⅲ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する	45
	実習	・経営を実際に学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する	
			合計時間 180
その他	開講式 ・ ガイダンス ・ 閉講式等		15
			総時間 195

(4) 各課程の修了について

各課程とも次の 2 点を要件とし、修了を判定する。

①各教科目 5 分の 4 以上の出席

②各教科目の課題レポートの合格

ABCD の 4 段階（A：80 点以上、B：79 点～70 点、C：69 点～60 点、D：59 点以下）で評価し、C 以上を合格とする

※本課程を修了すると、「認定看護管理者教育課程修了証書」とともに、学校教育法の規定に基づくプログラムであることを示した「履修証明書」を交付いたします。

2. 応募について

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
受講要件	①学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者 ④管理業務に関心のある者	①学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者 ④認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者	①学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者 ④認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者
		※副看護部長相当の職位とは、保険医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。	
研修開催期間	【年2回開講】 第 1 回 研修期間:2025 年 5 月 16 日(金)～ 8 月 2 日 (土) 閉講式 :8 月 29 日(金) 第 2 回 研修期間:2025 年 11 月 21 日(金) ～2026 年 2 月 21 日(土)、 閉講式 :2026 年 3 月 13 日(金)	【年1回開講】 研修期間:2025 年 6 月 6 日(金)～ 10 月 11 日(土) 閉講式 :11 月 7 日(金)	【年1回開講】 研修期間:2025 年 9 月 5 日(金)～ 2026 年 1 月 24 日(土) 閉講式 :2026 年 2 月 20 日(金)
開催時間	原則 9:30～16:30	原則 9:30～16:30	原則 9:30～16:30
開催方法	オンライン主体・週末型(金曜日・土曜日を主体とする)		
研修日数	20 日間	32.5 日間	32.5 日間
応募期間	第 1 回・第 2 回を同時募集 2025 年 1 月 6 日(月)～ 1 月 31 日(金) (消印有効)	2025 年 2 月 3 日(月)～ 2 月 28 日(金) (消印有効)	2025 年 5 月 1 日(木)～ 5 月 30 日(金)(消印有効)
定員	各 70 名	70 名	30 名

【申し込み方法】下記の申し込み時提出書類等を「レターパックライト」で申し込むこと

申し込み時提出書類等	1. 2024 年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書 <様式1> 2. 小論文 ・テーマ 「受講動機について」 ・400 字～450 字 ・,小論文の作成規定に沿って記載すること 3. 出願料振込金の明細票(コピー)を<様式1>の裏に貼付すること 4. 返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封すること	1. 2024 年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 <様式2> 2. セカンドレベル受講要件別確認表 <様式3> 3. 勤務証明書 <様式6>受講要件別必要書類参照 4. 小論文 ・テーマ 「自部署における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」 ・1,000 字～1,050 字 ・小論文の作成規定に沿って記載すること 5. 出願料振込金の明細票(コピー)を<様式 2>の裏に貼付すること 6. 返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封すること	1. 2024 年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 <様式4> 2. サードレベル受講要件別確認表 <様式5> 3. 勤務証明書 <様式 6>受講要件別必要書類参照 4. 小論文 ・テーマ「自組織における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」 ・1,200 字～1,250 字 ・小論文の作成規定に沿って記載すること 5. 出願料振込金の明細票(コピー)を<様式 4>の裏に貼付すること 6. 返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封すること
出願料	10,000 円(税込) 【 振込先 】 銀行・支店:みずほ銀行 赤坂支店(539) 種別:普通 口座番号:2344650 口座名義:学校法人国際医療福祉大学大学院		
選考方法	1. 受講要件を満たしている 2. 小論文		
選考結果	3月末に同時通知	4月末に通知	7月初旬に通知
受講料	198,000 円(税込) (レポート審査、修了判定含)	240,000 円(税込) (レポート審査、修了判定含)	342,000 円(税込) (レポート審査、修了判定含)
開催場所	〒107-8402 東京都港区赤坂 4 丁目 1 番 26 号 国際医療福祉大学 生涯学習センター Tel:03-5574-3835(直通) Fax:03-5574-3836		

3. 小論文について

【テーマ】

ファーストレベル　「受講動機について」（400 字～450 字）

セカンドレベル　「自部署における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」（1,000 字～1,050 字）

サードレベル　「自組織における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」（1,200 字～1,250 字）

【評価基準】

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
テーマ	受講動機について （400 字～450 字）	自部署における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる （1,000 字～1,050 字）	自組織における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる （1,200 字～1,250 字）
評価の視点	1. テーマに沿った内容である 2. 作成規定に沿って記述されている	1. テーマに沿った内容である 2. 自己の課題が明確である 3. 看護管理者の視点で述べている 4. 論旨に一貫性がある 5. 作成規定に沿って記述されている	1. テーマに沿った内容である 2. 自己の課題が明確である 3. 看護管理者の視点で述べている 4. 論旨に一貫性がある 5. 専門用語や概念の解釈が適切である 6. 文章表現が適切である 7. 倫理的配慮の記述が適切である 8. 誤字・脱字がない 9. 作成規定に沿って記述されている

【作成規定】

1　Word ソフトを使用する。

2　用紙は、A4 用紙 1 枚とし、縦置き、横書きで作成する。

3　数字・英字は半角、書体は MS 明朝、フォントサイズ 11 ポイントとする。

4　表紙は不要である。所属施設、氏名、テーマを明記する。最後に文字数を表記する。

【レイアウト例】

A4 縦書き

認定看護管理者教育課程「○○○　レベル」

所属施設　　氏名

テーマ「　　」

（文字数○○○字）

4 受講申し込み

(1) 提出書類

・申し込み書類は、国際医療福祉大学生涯学習センターのホームページ「募集要項」からダウンロードできます。
https://www.iuhw.ac.jp/mcec/tokyo/index.html

(2) 申し込み方法

・募集要項「2. 応募について」を確認の上、申し込み時提出書類等を準備して下さい。
・申し込み時提出書類等は、応募者 1 名につき 1 通の「レターパックライト」にて郵送して下さい。
・書類等に不備がある場合、申し込みを受理できません。

(3) 出願料

・出願料の振り込みは、応募者本人氏名としてください。
・振込手数料は、ご負担ください。
・期日までに振り込みの確認ができない場合、申し込みを受理できません。

(4) 申し込み先

〒107-8402　東京都港区赤坂 4 丁目 1 番 26 号
国際医療福祉大学　東京赤坂キャンパス内　生涯学習センター
電話:03-5574-3835(直通)

5. 受講決定

・受講決定通知書を送付します。
・受講決定通知書には、受講料の振込先と振り込み期日を記載していますので、期日までにお振込をお願いします。
・振り込みが確認できない場合は、受講できません。
・辞退希望の場合は電話連絡をお願いします。

6. その他

・出願料、受講料の返還はいたしません。

東京赤坂キャンパスへのアクセス

〇銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出入口より徒歩 3 分
〇千代田線「赤坂駅」徒歩 8 分
〇有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A 出入口より徒歩 6 分

申し込み所定用紙

■ 各課程別提出書類チェック表

■ ＜様式1＞ 2025 年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書　1 枚

■ ＜様式2＞ 2025 年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書　1 枚

■ ＜様式3＞「セカンドレベル」受講要件別確認表　1 枚

■ ＜様式4＞ 2025 年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書　1 枚

■ ＜様式 5＞「サードレベル」受講要件別確認表　1 枚

■ ＜様式6＞ 勤務証明書　1 枚

各課程別提出書類チェック表

※ この用紙は、提出して頂く必要はありません。書類等の確認用にご使用ください。

課程	チェック内容	
ファースト レベル		2025 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書 ＜様式1＞
		小論文
		出願料振込金の明細票(コピー)を ＜様式1＞の裏に貼付
		返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封
セカンド レベル	チェック内容	
		2025 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 ＜様式2＞
		セカンドレベル受講要件別確認表 ＜様式3＞
		様式3 受講要件 番号 1 の方 → ファーストレベル修了証の写し
		様式3 受講要件 番号 2 の方 → 勤務証明書 ＜様式6＞
		小論文
		出願料振込金の明細票(コピー)を ＜様式2＞の裏に貼付
		返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封
サード レベル	チェック内容	
		2025 年度認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 ＜様式4＞
		サードレベル受講要件別確認表 ＜様式5＞
		様式5 受講要件 番号 1 の方 → セカンドレベル修了証の写し
		様式5 受講要件 番号 2 の方 → 勤務証明書 ＜様式 6＞
		小論文
		出願料振込金の明細票(コピー)を ＜様式4＞の裏に貼付
		返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封

送付方法	チェック内容	
		上記、提出書類等をレターパックライトにて郵送

＜ 様式１＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

2025年度　認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書

記入日：　　年　　月　　日

すべて必須項目です。全項目必ず記載してください。

受講を希望する回に☑を付けてください		
□ 第１回　2025年 5月16日(金)～8月2日(土)　閉講式8月29日(金)　の20日間 □ 第２回　2025年11月21日(金)～2026年2月21日(土)　閉講式3月13日(金)　の20日間 □ 第１回・第２回のいずれでもよい		
ふりがな		
氏　名		
自宅住所	〒	
	日中、連絡の取れる電話番号：	
	E-mailアドレス：	
	Gmailアドレス：　（未取得の場合は「未」と記載してください）	
勤務先	施設名：	
	〒 電話番号：　（　　）	
看護師免許	看護師免許番号：	取得年月日：
看護職実務経験年数（通算）		年
現在の勤務先での経験年数（通算）		年
職業実践プログラムの要件（学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる）を満たしている。		□満たしている

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
　個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

＜ 様式２＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

2025年度　認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書

記入日：　　年　　月　　日

すべて必須項目です。全項目必ず記載してください。

ふりがな		
氏　名		
自宅住所	〒	
	日中、連絡の取れる電話番号：	
	E-mailアドレス：	
	Gmailアドレス：　（未取得の場合は「未」と記載してください）	
勤務先	施設名：	
	〒 電話番号：　（　　）	
看護師免許	看護師免許番号：	取得年月日：
看護職実務経験年数（通算）		年
現在の勤務先での経験年数（通算）		年
職業実践プログラムの要件（学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる）を満たしている。		□満たしている

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
　個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

＜ 様式３＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

「セカンドレベル」受講要件別確認表

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受講要件により提出書類が異なります。以下２項目のうち該当する番号１つに○をつけ、必要書類を添付してください。（１については必要事項を記入してください。）

番号	受講要件	必要書類
共通	・学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ・日本国の看護師免許を有する者 ・看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者	
1	・認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者 **ファーストレベル教育機関名** ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **修了年月日** ＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日	① 2025 年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 ＜ 様式２ ＞ ② ファーストレベル修了証の写し **※ 勤務証明書は不要**
2	・看護部長相当の職位にある者、 もしくは副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者 ※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す	① 2025 年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 ＜ 様式２ ＞ ② 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 ＜ 様式６ ＞

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

＜ 様式４＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

2025年度　認定看護管理者教育課程サードレベル申込書

記入日：　　年　　月　　日

すべて必須項目です。全項目必ず記載してください。

ふりがな		
氏　名		
自宅住所	〒	
	日中、連絡の取れる電話番号：	
	E-mailアドレス：	
	Gmailアドレス：　（未取得の場合は「未」と記載してください）	
勤務先	施設名：	
	〒 電話番号：　（　　）	
看護師免許	看護師免許番号：	取得年月日：
看護職実務経験年数（通算）		年
現在の勤務先での経験年数（通算）		年
職業実践プログラムの要件（学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる）を満たしている。		□満たしている

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
　個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

＜ 様式５＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

「サードレベル」受講要件別確認表

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受講要件により提出書類が異なります。以下２項目の要件のうち該当する番号１つに○をつけ、必要書類を添付してください。（１．については必要事項を記入してください。）

番号	受講要件	必要書類
共通	・学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる者 ・日本国の看護師免許を有する者 ・看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者	
1	・認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者 **セカンドレベル教育機関名** ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **修了年月日** ＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日	① 2025 年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 ＜ 様式４ ＞ ② セカンドレベル修了証の写し **※ 勤務証明書は不要**
2	・看護部長相当の職位にある者、 もしくは副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者	① 2025 年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 ＜ 様式４ ＞ ② 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 ＜ 様式６ ＞

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

＜ 様式６＞

国際医療福祉大学 生涯学習センター

勤 務 証 明 書

年　　月　　日

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 在職期間

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

＿＿＿＿＿年　　月より

＿＿＿＿＿年　　月まで　　通算　　年　　月間

2. 職位

⑴上記の者は当施設において、以下の職位であることを証明します。

＿＿＿＿＿年　　月より

＿＿＿＿＿年　　月まで（現在まで）　　職位＿＿＿＿＿＿

⑵当てはまる職位にレ点を付けてください。

上記の者の職位は受講要件に関わる

□　看護部長相当であることを証明します

□　副看護部長相当の職位に１年以上就いていることを証明します

施設名：

所在地：

施設長名：　　印

※本書１枚で受講要件（副看護部長相当の職位に１年以上就いている者）を証明できない場合は、本書を複写し、複数枚提出してください。

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。